

令和3年度

鹿児島大学教育学部編・転入学

学生募集要項

鹿児島大学教育学部

※新型コロナウイルス感染症及び拡大防止対策の影響により、選抜試験実施日及び選抜方法等が変更になる可能性があります。
変更になる場合は、決定次第、教育学部のホームページ上で公表します。

鹿児島大学教育目標

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指します。そのために次の教育目標を掲げます。

1. 幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育みます。
2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養います。
3. 地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養います。
4. グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育みます。

鹿児島大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

鹿児島大学は、教育目標に定める人材を育成するため、次のような学生を求めています。

1. 鹿児島大学の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力や考える力と意欲をもつ人
2. 人間としてのモラルを大切にし、教養をより高めようとする人
3. 知的向上心に富み、専門職業人として社会に貢献することをめざす人
4. ボランティアやインターンシップをはじめ、広く具体的体験に積極的に取り組む意志をもつ人

このような学生を適正に選抜するために、学部募集単位ごとに、多様な選抜を実施します。

教育学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

教育学部では、「学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探求することのできる高度な専門性と豊かな人間性を備えた教育者」の育成を目的としています。このことから、次のような人を求めています。

- ・ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校や特別支援学校等の教員になりたいという志望が強く明確な人
- ・ 入学後に修める専門的な知識・技能を身につけるのに必要とされる基礎的な能力を備えている人
- ・ 教員になるための専門的な学習や実習等に積極的に取り組む意欲が旺盛な人
- ・ 児童・生徒や周囲の人々とのコミュニケーションを豊かに保とうとする意欲をもつ人
- ・ 自分の人間性を高めるために、たゆまず持続的に努力する人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

学校教育に関わる教員は、専門とする分野以外にも幅広い教養と学力を身につけることが求められています。また、本学部では教育実習をはじめ様々なかたちで人と関わる機会が多々あります。そのため、入学に際し以下のことを身につけておくことが望まれます。

- ・ 学校教育の教員として必要な知識を学ぶための幅広い基礎学力
- ・ 学校現場での実習に際し児童・生徒の模範となれる規範意識
- ・ 規則正しい生活習慣
- ・ 様々な人と関わるための基本的マナー
- ・ 身近な事柄を知識と結びつける能力や、他者と協働する姿勢

3. 入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、学力試験及び面接を総合的に評価して行います。学力試験科目は、専門筆記試験・専門口述試験・専門実技試験・小論文の中から、コース・学科・領域等ごとに定められた試験を課し、専門教育を学ぶ上で必要な基礎知識、論理的な思考力、的確な表現力、技能等を評価します。

1. 募集する課程・コース・学科・領域名及び募集人員

課程名	コース・学科・領域名	募集人員
学校教育 教員 養成 課程	初等教育コース, 中等教育コース 国語※1	若 干 人
	初等教育コース, 中等教育コース 社会※1	
	初等教育コース, 中等教育コース 英語※1	
	初等教育コース, 中等教育コース 数学※1	
	初等教育コース, 中等教育コース 理科※1	
	初等教育コース, 中等教育コース 技術※1	
	初等教育コース, 中等教育コース 家政※1	
	初等教育コース 教育学	
	初等教育コース 心理学	
	実技系初等中等教育コース 音楽 ※1	
	実技系初等中等教育コース 美術 ※1	
実技系初等中等教育コース 保健体育 ※1		
特別支援教育教員養成課程	※2	

※1 国語・社会・英語・数学・理科・技術・家政及び実技系初等中等教育コースの音楽・美術・保健体育を志願する者は、初等教育コース又は中等教育コースを選択の上、出願してください。

※2 特別支援教育教員養成課程を志願する者は、2年次に編・転入学することになった場合は、学校教育教員養成課程特別支援教育コースの所属となります。

2. 編・転入学の時期及び編・転入学年次

入学の時期は令和3年4月1日とし、原則として3年次に編・転入学するものとします。ただし、修得単位の状況によっては2年次に編・転入学することがあります。

3. 出願資格

以下の(1)と(2)の両方を満たす者に出願資格を認めます。

(1) 次のいずれかに該当する者

(①～⑥は編入学, ⑦は転入学に該当する。)

- ①本学を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者（ただし、本学部を卒業した者が編入学を志願できるのは、卒業した専修及び学科・領域以外とする。）
- ②他の大学、短期大学、高等専門学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者
- ③外国の大学を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者
- ④他の大学に2年以上在学（休学期間は除く。）して退学した者で、62単位以上修得した者又は令和3年3月までに2年以上の在学となり退学見込みの者で、62単位以上修得見込みの者
- ⑤専修学校の専門課程のうち文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること）を満たす課程を修了した者又は令和3年3月に修了見込みの者
- ⑥高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。）の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は令和3年3月に修了見込みの者（学校教育法90条第1項に規定する者に限る。）
- ⑦他の大学に2年以上在学（休学期間は除く。）し、62単位以上修得している者又は令和3年3月までに2年以上の在学となり、62単位以上修得見込みの者（ただし、志願する時点で、現に在学する大学の学長の許可を得ている者に限る。）

(2) 英検2級以上を取得しているか、又は、TOEFL iBT 54点以上のスコアを取得している者（ただし、スコアは、出願期間開始日より過去に遡って2年以内の成績であること。）

また、外国の国籍を有する者（日本の永住許可を得ている者は除く。）は、上記（1）と（2）のほかに、財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験N2（旧試験2級）」以上を取得していること。

4. 事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等又は発達障害がある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ本学部と相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

① 時期

相談の内容によっては本学部の試験までに対応できず、特別措置が講じられないこともありますので、令和2年8月28日(金)までに相談してください。

② 方法

電話または本学部窓口での相談いずれでもかまいませんが、下記事項等を記載した相談書（様式任意）を提出していただく場合があります。

- ア. 氏名、生年月日、志願課程、コース・学科・領域名
- イ. 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合があります）
- ウ. 受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- エ. 在学中にとられていた特別措置
- オ. 日常生活の状況
- カ. 本人の住所、電話番号及び保護者等の連絡先
- キ. その他参考書類（身体障害者手帳等の写し）

③ 問い合わせ先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号

鹿児島大学教育学部教務係 TEL 099-285-7713

5. 出願手続

(1) 出願期間

令和2年9月14日(月)～9月16日(水)

・受付時間 9時～16時

・郵送の場合は「書留速達」とし、9月16日(水)16時までに必着とします。

(2) 受験票発送日

令和2年9月29日(火)

(3) 出願書類等

	書 類 等	摘 要
1	編・転入学試験志願票	本学部所定の様式を使用すること。
2	受験票・写真票	本学部所定の様式を使用すること。 (出願期間前6ヶ月以内に撮影した写真を貼付すること。)
3	英検又はTOEFLの証明書	英検の合格証書の写し、又は出願期間開始日より過去に遡って2年以内のTOEFL iBTのスコアを証明するものを提出すること。 初等教育コース及び中等教育コース英語を志願する者は、TOEFL iBTのスコアを必ず提出すること。
4	最終学校の卒業(修了)証明書 又は卒業(修了)見込証明書	出願資格の(1)①、②、③、⑤のいずれかに該当する者は提出すること。 ※令和2年4月以降に発行され、厳封されたものを提出すること。
5	最終学校の学業成績証明書	履修中の科目はその旨記載すること。 ※令和2年4月以降に発行され、厳封されたものを提出すること。
6	編入学資格証明書	出願資格の(1)⑥に該当する者は、本学所定の用紙を使用し、在籍する学校長が証明したものを提出すること。
7	転入学許可証	出願資格の(1)⑦に該当する者は提出すること。 現在在学する大学の学長が証明したもの。
8	学力に関する証明書	教育職員免許状を取得した者又は取得見込みの者は提出すること。 *教育職員免許状申請に必要な様式 ※令和2年4月以降に発行され、厳封されたものを提出すること。
9	履修課程等証明書	本学所定の様式を使用すること。 出願資格の(1)④又は(1)⑤に該当する者が提出すること。
10	入学検定料(30,000円)の郵便振替払込受付証明書(お客さま用)	8月31日(月)以降(それ以前は払込まないこと。)に必ず郵便局の受付窓口で払込むこと。その際、払込取扱票等の※印欄は必ず記入すること。ATMでの払込みは出来ない。 振替払込受付証明書(お客さま用)は所定の台紙に必ず貼付すること。 なお、既納の入学検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 ①払込んだが出願しなかった場合 ②誤って二重に払込んだ場合
11	宛名シール	本学部所定の様式(2枚)に合格通知先等の住所・氏名・郵便番号を記入すること。
12	受験票等送付用封筒	374円分の切手を貼った長形3号封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記すること。
13	実技関係等書類 (実技系初等中等教育コース 音楽・美術・保健体育)	実技の受験者は本学部所定の様式を使用すること。 ①音楽・・・専門実技試験受験種目届 ②美術・・・面接用提出作品種目届 ③保健体育・・・専門実技試験受験種目届 ・・・専門実技試験に関する届出書
14	日本語能力試験の認定書の写し	外国の国籍を有する者(日本の永住許可を得ている者は除く。)は、財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験N2(旧試験2級)以上の認定書の写し」を提出すること。
15	その他	日本国籍を有しない者は、市区町村長の発行する住民票の写し(在留資格が記載されたもの。)を提出すること。

(留意事項)

- 出願書類に不備・記入もれなどがある場合は受け付けられませんので、十分点検して提出してください。なお、不備書類は返却します。
- 出願後の出願書類及び検定料の返還並びに出願書類の記載事項の変更は認めません。
- 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- 出願書類等により志願者から提出された個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)に則り、本学入学者選抜・合格発表、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導等、授業料の債権管理を行うためのみ利用し、他の目的には利用しません。

6. 出願書類提出先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号

鹿児島大学教育学部教務係 TEL 099-285-7713 FAX 099-285-7735

7. 選抜方法等

学力試験及び面接の結果を総合して判定します。また、成績証明書を基礎資料とします。

なお、専門口述試験は面接の時間内に実施します。

(1) 学力試験科目の配点

課程	コース・学科・領域名	学 力 試 験 科 目 配 点			合 計	面接	
		専 門 筆記試験	専 門 口述試験	専 門 実技試験			
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初等教育コース, 中等教育コース 国語	300			300	*	
	初等教育コース, 中等教育コース 社会	300			300	*	
	初等教育コース, 中等教育コース 英語	120			180	300	*
	初等教育コース, 中等教育コース 数学	300				300	*
	初等教育コース, 中等教育コース 理科		300			300	*
	初等教育コース, 中等教育コース 技術		300			300	*
	初等教育コース, 中等教育コース 家政		100		200	300	*
	初等教育コース 教育学	200			100	300	*
	初等教育コース 心理学	100	100		100	300	*
	実技系初等中等教育コース 音楽			300		300	
	実技系初等中等教育コース 美術		90	150	60	300	*
	実技系初等中等教育コース 保健体育		150	150		300	*
	特別支援教育教員養成課程	200	100			300	*

※面接欄の*印は4段階（A～D）で評価し総合判定の資料とします。

(2) 採点・評価等基準

【専門筆記試験】

1) 初等教育コース, 中等教育コース 国語

大学における国語科の専門教育を学ぶ上で必要な基礎的な事項（「国語に関する基礎知識」「国文学」「漢文学」「国語学」の各分野にわたる）、論理的な思考力、適確な表現力を問う。

2) 初等教育コース, 中等教育コース 社会

「日本史学」「地理学」「法学」「倫理学」の中から2科目を選択させ、その学力を問う。

3) 初等教育コース, 中等教育コース 英語

出願期間開始日より過去に遡って2年以内のTOEFL iBT の成績で検査に代える。

4) 初等教育コース, 中等教育コース 数学

編・転入学後の数学科の専門科目を理解するために必要な数学全般に関する基礎的知識を問う。

5) 初等教育コース 教育学

教育学の基礎的な事項について問う。

6) 初等教育コース 心理学

心理学の基礎的な事項について問う。

7) 特別支援教育教員養成課程

「障害児教育学」「障害児心理学」「障害児保健学」に関する基礎的な事項について問う。

【専門口述試験】

1) 初等教育コース, 中等教育コース 理科

自然科学全般及び特に興味を持っている分野に関する基礎知識と論理的に思考し説明する能力をみる。

2) 初等教育コース, 中等教育コース 技術

編・転入学後の技術科の専門科目を理解するために必要な技術全般に関する基礎的な知識について試問を行う。

3) 初等教育コース, 中等教育コース 家政

大学における家政学の専門教育を学ぶ上で必要な思考力や、衣・食・住・保育・消費に関する基礎的な事項について試問を行う。

4) 初等教育コース 心理学

受験者がこれまでに学んだ心理学の専門的内容に関する試問を行う。

5) 実技系初等中等教育コース 美術

提出作品（注1）（立体作品1点あるいは平面作品2点）による作品制作の意図等の説明、解説を求め、それらについて質問を行う。（注1）提出作品については4頁を参照してください。

6) 実技系初等中等教育コース 保健体育

保健体育に関する基礎知識と論理的に思考し説明する能力をみる。

7) 特別支援教育教員養成課程

受験者がこれまでに学んだ専門的内容に関する試問を行う。

【専門実技試験】

<p>実技系 初等中等 教育コース 音楽</p>	<p>1～4は全員必須 1. ピアノ ①次にあげた練習曲より任意の1曲を選び演奏すること。 C. Czerny 40番練習曲 Op.299, 50番練習曲 Op.740, M. Moszkowski 15の練習曲 Op.72, F. Chopin 練習曲 Op.10, Op.25 ②L. v. Beethoven ピアノソナタより任意の楽章（但し緩徐楽章を除く） 2. 声楽 ①歌曲を3曲演奏すること。（イタリア歌曲, ドイツ歌曲, 日本歌曲各1曲） ②新曲視唱 出願の際にピアノ伴奏楽譜を提出すること。また, 楽譜の裏面に志願者氏名を記すこと。（楽譜は返却しない） 3. 理論その他（楽典・音楽史・和声学） 4. 聴音 二声旋律及び四声และ声書き取り ピアノ①②, 声楽①は暗譜演奏のこと。</p>
<p>実技系 初等中等 教育コース 美術</p>	<p>1. 素描 基本的な描写力, 表現力を問う。 [受験上の注意] 実技に関する用具は本学において準備する。 (注1) 提出作品（立体作品1点あるいは平面作品2点の実物）に基づき面接を実施する。 提出作品は必ず本人の作であるものとし面接当日持参することを原則とする。 面接提出作品は試験終了後, 各自速やかに持ち帰ること。 A 平面作品の場合…大きさは, キャンバス50号以内又は木製パネルB1判（728mm×1030mm） の寸法以内の作品を2点とする。内容は, 絵画, デザイン, 工芸など B 立体作品の場合…縦, 横, 高さの合計が2m以内の作品を1点とする。内容は, 彫塑, 工 芸, 立体デザインなど。</p>
<p>実技系 初等中等 教育コース 保健体育</p>	<p>1. 次の5種目の中から1種目を選択させ, その種目の運動技能や競技力をみる。 1. 陸上競技 2. 水泳 3. バスケットボール 4. バレーボール 5. 柔道 ※1の陸上競技は短距離走, 長距離走の中からいずれかを選択させ実施する。 ※2の水泳はクロール, 平泳ぎ, 背泳ぎ, バタフライの中からいずれかを選択させ実施する。 [受験上の注意] 1) 受験者は運動のできる服装をすること。 2) 屋内, 屋外で実技試験を受ける者は, それぞれ屋内, 屋外シューズを持参すること。競技用 シューズを用いてもよい。 3) 雨天時においても実技試験は実施するので着替え等を準備すること。 4) 柔道の受験者は, 「柔道衣」を持参すること。 水泳の受験者は, 「競技用水着」及び「水泳帽」を持参すること。</p>

【小論文】

- 1) 初等教育コース, 中等教育コース 英語
英語や英語教育等に関する英作文を課す。
- 2) 初等教育コース, 中等教育コース 家政
生活に関わる諸事象についての問題意識, 家政学及び家庭科教育学を学ぶ上で必要な基礎学力, ならびに生活科学に関する内容についての読解力, 考察力, 表現力を問う。
- 3) 初等教育コース 教育学
広く人間や社会・文化などについて, 思考力や表現力を問う。
- 4) 初等教育コース 心理学
人の心に関する諸問題について, 基礎的な分析力・表現力を問う。
- 5) 実技系初等中等教育コース 美術
美術作品に関する知識を問う。

【面接】（専門口述試験を含む）

コース・学科・領域等	面接の形態			面接時間	評価事項
	個人面接	集団面接	面接員数		
初等教育コース，中等教育コース 国語	○		3～6人	20分	志望動機，国語に対する興味・関心，教員志望の意欲等
初等教育コース，中等教育コース 社会	○		3～8人	20分	志望動機，社会及び社会科教育への興味・関心・学習意欲の程度，専門を学ぶ上での素養等
初等教育コース，中等教育コース 英語	○		3～5人	30分	英語の基礎的知識，志望動機，熱意等
初等教育コース，中等教育コース 数学	○		2～3人	20分	志望動機，教員志望の意欲等
初等教育コース，中等教育コース 理科	○		4～8人	50分	志望動機，教員志望の意欲，教育に関する問題意識等
初等教育コース，中等教育コース 技術	○		3～4人	30分	志望動機や学習の目的，理想の教師像，ものづくり教育等
初等教育コース，中等教育コース 家政	○		3～5人	20分	志望動機，家庭科に関する基礎知識，家政で学びたい学習課題や目標，理想の教師像等
初等教育コース 教育学	○		2～3人	20分	志望動機，今後の学習に対する意欲等
初等教育コース 心理学	○		3～5人	30分	志望動機等
実技系初等中等教育コース 美術	○		3～5人	20分	志望動機，学習の目的，将来の進路等
実技系初等中等教育コース 保健体育	○		3～6人	30分	志望動機，学習意欲等
特別支援教育教員養成課程	○		2～3人	30分	志望動機等

※受験者数により「面接の形態」，「面接時間」を変更することがあります。

8. 学力試験の実施日・時間割等

(1) 試験の日程 令和2年10月24日(土)

(2) 試験時間

コース・学科・領域等	項目	試験時間	集合時間
初等教育コース, 中等教育コース 国語	専門筆記試験	9:00～10:30	8:40
	面接	11:00～	10:40
初等教育コース, 中等教育コース 社会	専門筆記試験	9:00～11:00	8:40
	面接	11:30～	11:10
初等教育コース, 中等教育コース 英語	小論文	9:00～10:30	8:40
	面接	11:00～	10:40
初等教育コース, 中等教育コース 数学	専門筆記試験	9:00～10:30	8:40
	面接	11:00～	10:40
初等教育コース, 中等教育コース 理科	面接※	9:00～	8:40
初等教育コース, 中等教育コース 技術	面接※	9:00～	8:40
初等教育コース, 中等教育コース 家政	小論文	9:00～10:30	8:40
	面接※	11:00～	10:40
初等教育コース 教育学	専門筆記試験	9:00～10:30	8:40
	小論文	11:00～12:00	10:40
	面接	13:00～	12:40
初等教育コース 心理学	専門筆記試験	9:00～10:30	8:40
	小論文	11:00～12:00	10:40
	面接※	13:00～	12:40
実技系初等中等教育コース 音楽	専門実技試験	9:00～	8:40
実技系初等中等教育コース 美術	小論文	9:00～10:30	8:40
	面接※	11:00～12:00	10:40
	専門実技試験	13:00～	12:50
実技系初等中等教育コース 保健体育	専門実技試験	9:00～10:30	8:40
	面接※	11:00～	10:50
特別支援教育教員養成課程	専門筆記試験	9:00～10:30	8:40
	面接※	11:00～	10:40

※は専門口述試験を含む

(3) 試験場 鹿兒島大学教育学部

(4) 集合場所 教育学部 (教育学部の掲示板で確認すること)

(5) 受験上の注意事項

- ① 受験票は必ず持参し、携帯してください。受験票を携帯しない場合は、受験できないことがあります。
- ② 試験室では、必ず自分の受験票と同番号の席に着き、受験票を机の上に置いてください。
- ③ 試験開始時刻に遅刻した者や受験票を忘れた者は、監督者に申し出てください。受験票を忘れた者は試験開始前であれば試験場本部に申し出てください。試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、その科目等の受験を認めます。なお、遅刻の理由が交通機関の遅延・予定外の運休等の場合は、試験場本部に申し出てください。
- ④ 実技試験及び面接においては、試験開始時刻までに控室に入室していない場合は、当該科目の受験は認められませんので注意してください。
- ⑤ 各コース・学科・領域等が課す学力試験科目及び面接のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象とはなりません。
- ⑥ 鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削り(電動式を除く。)等は各自用意し、試験中に他人の物品を借りたり、共用したり、試験に必要な物品を持ち込んだりしてはいけません。
- ⑦ 時計を使用する場合は、計時機能だけのものとします。アラームや時報機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除しておいてください。
- ⑧ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験時間中に、これらをかばん等に入れず、身に付けていたり、手に持っているとは不正行為となることがあります。
なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
- ⑨ 試験室に入室してから試験終了まで退室を認めません。ただし、試験中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。この場合、試験時間の延長は認めません。
- ⑩ 試験に際して不正行為が認められた受験者については、その試験は無効とし、その後の受験を認めません。この場合、すべての成績が無効となり、合否判定の対象とはなりません。
- ⑪ 試験当日は、公共の交通機関を利用してください。なお、自動車・バイク等による入構は禁止します。

—試験当日の試験実施に関しての注意点—

地震や風水害等の自然災害等により、試験場までの交通手段が奪われ、当初の日程通りに入学試験等を実施することが困難であると、本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験の延期等の措置をとることがあります。

これらの措置を講じる場合は鹿児島大学教育学部ホームページ上に掲載します。

ただし、このことに伴う受験者の個人的損害について本学は責任を負いません。

9. 合格者発表

令和2年11月12日(木)10時に鹿児島大学教育学部掲示板および教育学部ウェブサイト

(<http://www.edu.kagoshima-u.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

10. 入学手続きについて

合格者への入学手続きに必要な書類は令和2年11月下旬頃に各自へ送付する予定です。

編・転入学時に必要な経費

入学料 282,000円 (予定額) ※入学料、授業料に改定があった場合は、改定後の

授業料 前期分 267,900円 (予定額) 金額が適用されます。

(年額 535,800円) (予定額)

※在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

11. 編・転入学後の履修について

(1) 既修得単位の認定については、本学部の認定基準により審査します。

(2) 単位の既修得状況によっては、3年次に編・転入学しても教育実習に参加する条件は満たされないことがあります。この場合、4年次で教育実習に参加することになります。

また、複数の教育職員免許状を希望する場合は修業年限内に取得できない場合があります。

(3) 2年次に編・転入学した場合、修業年限は3年間、在学期間は6年間です。

3年次に編・転入学した場合、修業年限は2年間、在学期間は4年間です。

なお、ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号

鹿児島大学教育学部 教務係

TEL 099-285-7713 FAX 099-285-7735

E-mai : edukyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

12. 令和2年度教育学部編・転入学試験実施状況

課程	コース・学科・領域名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
学校 教 育 教 員 養 成 課 程	初等教育コース, 中等教育コース国語	若干人	0			
	初等教育コース, 中等教育コース社会		1	1	0	0
	初等教育コース, 中等教育コース英語		3	3	1	1
	初等教育コース, 中等教育コース数学		0			
	初等教育コース, 中等教育コース理科		0			
	初等教育コース, 中等教育コース技術		0			
	初等教育コース, 中等教育コース家政		1	1	1	1
	初等教育コース教育学		0			
	初等教育コース心理学		1	1	1	1
	実技系初等中等教育コース音楽		0			
	実技系初等中等教育コース美術		0			
	実技系初等中等教育コース保健体育		1	1	0	0
特別支援教育教員養成課程			3	3	2	2
計		—	10	10	5	5

入 試 情 報 開 示

学力試験問題の正解・解答例の開示

合格者発表後、「正解・解答例」を教育学部教務係で開示します。

なお、次の点に留意してください。

- 1 正解・解答例については、「例示」であり、複数の正解・解答があり得ます。
- 2 正解・解答例に代えて、出題意図を開示する場合があります。

入学者選抜試験個人成績の開示

令和3年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

1 開示内容 試験成績

【得点】学力試験の個々の科目の得点及び合計得点を開示します。

【面接】面接評価の段階を開示します。

2 開示期間 令和2年12月1日(火)～令和3年1月29日(金) 9時～17時

ただし、土曜日・日曜日・祝日・年末年始〔令和2年12月26日(土)～令和3年1月3日(日)〕を除きます。

3 請求者 受験者本人に限ります。(代理人による請求は認められません)

4 開示方法

(1) 教育学部教務係で開示します。開示請求を行う者は、次の①・②を必ず持参してください。

- ① 入試情報開示請求書(様式は右記のとおり)
- ② 令和3年度鹿児島大学教育学部編・転入学試験受験票

A4用紙

(2) 郵送により開示請求を行う者は、次の①～③を取り揃えて、封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書きし、必ず書留郵便で請求してください。

ただし、開示期間中の消印のあるもの限り受け付けます。なお、本人確認のため、問い合わせをする場合があります。

- ① 入試情報開示請求書(様式は右記のとおり)
- ② 令和3年度鹿児島大学教育学部編・転入学試験受験票
- ③ 返信用封筒(長形3号封筒に簡易書留料金を含めた404円分の切手を貼付し、自分の宛先を明記したもの)

※郵便料金の改定があった場合は、改定後の料金が適用されますので、ご注意ください。

(3) 請求先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号
鹿児島大学教育学部教務係

5 その他

令和2年度以前の個人成績は開示しません。

入試情報開示請求書

令和 年 月 日

鹿児島大学教育学部長 殿

請求者 住所

氏名

電話

受験課程・コース・学科・領域

受験番号

私の入試成績について、下記のとおり入試情報の開示を請求します。

記

(開示を希望するものの番号に○を付してください。)

1. 得点
2. 面接評価

※上記の日付は入試情報開示請求日を記入してください。



【入学検定料振替払込受付証明書（お客さま用）】貼付用台紙

選 抜 区 分	編・転入学
志 願 者 氏 名	
志 願 課 程 コース・学科・領域	学 部 課 程 コース 学 科 ・ 領 域

入学検定料振替払込受付証明書（お客さま用）を必ず貼付すること。

令和3年度
鹿児島大学教育学部編・転入学試験

写 真 票

受験番号	※
氏 名	

※印欄は記入しないこと。

志願課程 _____ 課程

志願コース・学科・領域 _____
コース
学科・領域

(写真貼付)
タテ5×ヨコ4cm

出願前6ヶ月以内に撮
影したもの
写真の裏に氏名を記入
し、貼付すること。

令和3年度
鹿児島大学教育学部編・転入学試験

受 験 票

※
受験番号 _____

氏 名 _____

志願課程 _____ 課程

志願コース・学科・領域 _____
コース
学科・領域

※印欄は記入しないこと。

(写真貼付)
タテ5×ヨコ4cm

出願前6ヶ月以内に撮
影したもの
写真の裏に氏名を記入
し、貼付すること。

切
り
離
さ
な
い
こ
と

令和3年度 鹿児島大学教育学部 実技系初等中等教育コース
音楽 専門実技試験受験種目届(編・転入学)

※ 受験番号 番

性別

ピアノ受験曲	①	
	②	L.v. Beethoven 作曲
声乐受験曲		イタリア歌曲
		ドイツ歌曲
		日本歌曲

- (注意) 1. ピアノ・声乐とも作曲者名, 曲名, 楽章, 作品番号を明記すること。
2. 提出後の変更は認めない。
3. 声乐①は, ピアノ伴奏楽譜 (楽譜の裏面に志願者氏名を記入) を提出すること。(楽譜は返却しない。)

注) ※印欄は記入しないこと。

令和3年度 鹿児島大学教育学部 実技系初等中等教育コース
保健体育 専門実技試験受験種目届(編・転入学)

※ 受験番号 番

性別

専門実技試験受験種目届は, 下記の5種目の中から, 1種目を選び○でかこむこと。	
種	目
1. 陸上競技 2. 水 泳 3. バスケットボール 4. バレーボール 5. 柔道	

(注意) 提出後の変更は認めない。

注) ※印欄は記入しないこと。

令和3年度 鹿児島大学教育学部 実技系初等中等教育コース
美術 面接用提出作品種目届(編・転入学)

※ 受験番号 番

性別

提出作品の種別	A. 平面作品(2点) B. 立体作品(1点)
---------	----------------------------

- (注意) 1. 選択種目は, A・Bのいずれかを○でかこむこと。
2. 提出後の変更は認めない。

注) ※印欄は記入しないこと。

令和3年度 鹿児島大学教育学部
専門実技試験に関する届出書（編・転入学用）

（実技系初等中等教育コース 保健体育）

※受験番号							
氏名（フリガナ）			生 年 月 日			性別	
			昭和 平成			年 月 日	
出身大学及び卒業年度等		都道府県		大学 年 月 日 学科		卒業(修了) 卒業(修了)見込 退学 退学予定	
選択実技試験 受験種目		1.陸上競技 2.水泳 3.バスケットボール 4.バレーボール 5.柔道					
1種目選択し ○で囲む							
主たる運動部活動名			通算経験				
運動部役員経験			役職名			年 数	
競 技 歴	競技会・発表会 等の正式名称	年 月	主 催 者	会 場	出 場 種 目 ポ ジ シ ョ ン	成 績 ・ 記 録 (詳しく記入すること)	
	[国際 全国A 全国B] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月					
	[国際 全国A 全国B] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月					
歴	[国際 全国A 全国B] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月					
その他							
本書の競技歴の記載事項に誤りがないことを証明する。 令和 年 月 日							
学 校 名 所 在 地 大学の顧問教員もしくは指導教員又は高等学校等学校長 印 記載責任者 印							

裏面の「記入上の注意事項」を参照のこと。

記入上の注意事項

1. ※印欄は記入しないこと。
2. 役職名は、クラブにおいて経験した主将・副主将・主務等を記入すること。
3. 資格取得者は、段位等を具体的に「その他」の欄に記入すること。
例：スキー1級，柔道2段，剣道2段
4. 競技歴については得意とするスポーツ種目について大学もしくは、高等学校在学中に出場した大会のうち（大学もしくは高校単位で出場したものだけに限らない。例えば県選抜等も含む），良い成績を修めたものを下記の記入例にならって，3つまで記入すること。
記入例（陸上，柔道，ダンス，体操競技，バスケットボール）

	競技会・発表会等の正式名称 []内は該当するものに○	年 月	主催者	会 場	出 場 種 目 ポ ジ シ ョ ン	成 績 ・ 記 録 (詳しく記入すること)
競	第○回全国高等学校総合体育大会「陸上競技」 [国際 全国A 全国B] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月	全国高等学校体育連盟	○○県陸上競技場	走り幅跳び	予選記録○○m○○cm 決勝記録○○m○○cm (第○位)
	第○回全国高等学校総合体育大会「柔道競技」○○県予選 [国際 全国A 全国B] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月	○○県高等学校体育連盟	○○県武道館	個人 団体(正) 両方に出場	団体は3回戦進出 先鋒として出場し，2勝1分け 個人(-78kg)は，3回戦対○○選手(○○高校)に僅差負け
技	第○回全日本高校・大学ダンスフェスティバル [国際 全国A 全国B] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月	日本女子体育連盟	○○県文化ホール		「鼓動」(15人)を創作したコンクール部門本選に出場した
会	第○回全日本学生体操競技選手権大会 [国際 全国A 全国B] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月	全日本学生体操連盟	○○県体育館	団体(正)	団体総合 ○位 個人総合 ○位 種目別あん馬 ○位 平行棒 ○位
	第○回全日本学生大会「バスケットボール選抜」 [国際 全国A 全国B] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月	全日本学生○○連盟	○○県体育館	レギュラー，補欠の別エントリー，エントリー外別及びポジション	3回戦進出
その他 県選抜バスケットボール大会，得点王（3試合で85点）の表彰 全日本学生柔道大会対○○大学 優秀選手の表彰 剣道2段（全剣連発行，令和○年○月○日）						

- (1) 競技会・発表会は正式の名称を記入すること。[]内は当該大会の規模について，該当するものに○を付ける。ただし，国際大会は日本代表として出場したもの，また全国Aは地方大会の予選を経たもの，全国Bは予選を経ずにただちに参加できる大会を意味する。
- (2) 出場種目・ポジションの欄には正補欠を区別するほか，記入例に従って明記すること。
- (3) 成績・記録は個人・団体・リレーなど具体的に記入すること。ダンス等の発表記録は，創作・出演等の役割，題名，出演者数等を明記すること。
5. その他の欄には大学もしくは高校時代の活動について以下のような項目に該当することがあれば，具体的に記入すること。
 - (1) 全国・地区・県選抜チーム・国体（最優秀選手賞，ベストプレイヤー賞，得点王等）に推薦された，または選ばれた経験。
 - (2) その他特筆すべき事項
6. 本票は，大学時における顧問教員もしくは指導教員又は高等学校長が作成・押印のうえ厳封し，表に「実技試験に関する届出書在中」と記入のうえ，他の出願書類とともに提出すること。
7. 出願後の受験種目の変更は認めない。

編入学資格証明書【高等学校専攻科修了（見込）者用】

※作成前に必ず別紙「編入学資格証明書【高等学校専攻科修了（見込）者用】の発行について」をご確認ください。

下記の者は、以下の条件を満たし、学校教育法58条の2の規定に基づき、大学に編入学することができる専攻科を修了した、または修了見込みであることを証明する。

(条件) 修業年限が2年以上で、かつ文部科学大臣が定める以下のアまたはイの基準のいずれかを満たす課程を修了した、または修了見込みであること。

ア. 高等学校の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準（平成28年文部科学省告示第63号）

イ. 特別支援学校の高等部の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準（平成28年文部科学省告示第64号）

フリガナ		性別	男・女			
氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
在籍期間	入学	平成・令和	年	月	日	
	修了/修了見込	平成・令和	年	月	日	
休学期間	自	平成・令和	年	月	日	
	至	平成・令和	年	月	日	
学校名（在籍時）						
専攻科名（在籍時）						
現校名または事務移管先	※ [いずれかの場合に○] 変更・統合・廃校 年月日:昭和・平成 年 月 日					
通学区分	<input type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 定時制 <input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 特別支援学校					
専攻科設置届出受理年月日	平成・令和 年 月 日 ※学校創立年月ではありません。上記専攻科の設置届出受理年月を記入してください。					

<上記の者の貴校における年間授業時間数、修得単位数記入欄>

学年	1	2	3	4	合計	備考
年度	年度	年度	年度	年度		
時間数						
修得単位数						

鹿児島大学 教育学部長 殿

記載事項について誤りのないことを証明します。

令和 年 月 日

学校名

所在地

学校長名

(学校長印)

編入学資格証明書【高等学校専攻科修了（見込）者用】の発行について

「編入学資格証明書【高等学校専攻科修了（見込）者用】」は高等学校専攻科を修了された方が、当学部に編入学するにあたっての資格要件を確認する為の書類となります（修了見込を含む）。

以下の留意点をご一読の上、ご不明な点等ございましたら、当学部までご連絡お願いいたします。

<記入方法>

- ・全ての項目について、貴校にてもれなくご記入ください（志願者本人不可）。
- ・学校名は在籍時の校名を記入し、変更がある場合は、下段に現在の校名と変更年月日をご記入ください。また、廃校の場合は、廃校年月日と証明書発行業務等の事務移管先をご記入ください。また、廃校の場合の証明者は、事務移管先およびその責任者となります。その場合、本書最下欄の「学校名」「学校長名」をそれぞれ二重線で訂正し「事務移管先」「責任者」をご記入ください。
- ・「学年」欄をご確認の上、「年度」、「時間数」、「修得単位数」の各欄を必ず記入してください。
- ・「時間数」欄には、修得単位の授業時間数を記入してください。
- ・編入学資格を満たさない場合、発行はせず、証明書の発行依頼者に本証明書を発行できない理由をご説明ください。

<参考>高等学校の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準の概要（全日制の場合）

【修業年限】 **2年以上**（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第100条の2第1号）

【修了要件】 **62単位以上**（平成28年文部科学省告示第63号）

※授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、専攻科の教育の特性を踏まえつつ、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- ①講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で高等学校が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ②実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で高等学校が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽等の学科における個人指導による実技の授業については、高等学校が定める時間の授業をもって1単位とすることができる。
- ③1の授業科目について、講義若しくは演習又は実験、実習若しくは実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組合せに応じ、上の①、②に規定する基準を考慮して高等学校が定める時間の授業をもって1単位とする。

【教員組織】 専攻科の全日制の課程における教員の数は、（文部科学省告示の）別表第1に定める数以上とすること。教員の数の半数以上は、専任の教員（専ら当該専攻科における教育に従事する校長が教員を兼ねる場合にあっては、当該校長を含む。以下同じ。）でなければならないこと。ただし、当該専任の教員の数は3人を下ることができないこと。（平成28年文部科学省告示第63号）

【施設】 専攻科を置く高等学校の校舎には、当該専攻科の目的、生徒数、課程又は学科に応じ、専ら当該専攻科の授業の用に供する教室その他必要な附帯施設を備えなければならないこと。専攻科を置く高等学校は、当該専攻科の目的に応じ、専ら当該専攻科の授業の用に供する実習場その他の必要な施設を確保しなければならないこと。（平成28年文部科学省告示第63号）

<お問合せ先>

鹿児島大学教育学部教務係

Tel : 099-285-7713 Fax : 099-285-7735

e-mail : edukyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

履修課程等証明書

氏 名

生年月日 昭和 平成 年 月 日生

平成 令和 年 月 日 修了・修了見込み・退学・退学見込み

上記の者は、下記の事項に該当することを証明します。

記

該当する番号に○をつけてください。

- 1 学校教育法による専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であるものに限る。）を修了した者又は令和3年3月に修了する見込みの者
- 2 2年以上在学（休学期間を除く）して退学した者で、62単位以上修得した者又は令和3年3月までに2年以上の在学となり退学見込みの者で、62単位以上修得見込みの者

令和 年 月 日

学校名

代表者名

公印